



にちなん

第27号

平成27年11月1日発行

# 議会だより



## 主な内容

- ◆ 第3回定例会の開催結果…………… 2ページ
- ◆ 「市民と語る日南市議会」開催案内… 15ページ
- ◆ 平成26年度決算状況…………… 4ページ
- ◆ 審議結果一覧…………… 16ページ
- ◆ 市政を問う、一般質問…………… 8ページ

■今号の表紙■ 平成27年8月30日に実施された、防災訓練のようす。

第4回定例会を開催

# 新特命担当副市長 大野理氏の選任に同意!

～その他、平成27年度一般会計補正予算(第2号)などを可決～

平成27年第4回定例会は、平成27年9月14日から10月14日までの31日間開催され、平成27年度一般会計補正予算(第2号)をはじめとする、市長提出議案など、あわせて37件を審議しました。  
(審議結果につきましては、16ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

## 副市長選任に同意

■議案第86号 日南市副市長の選任について  
(原案同意)

本年7月31日をもって退任された、稲本龍生氏の後任として、大野理氏(41歳)を副市長として選任することに同意しました。

大野副市長は、平成11年に経済産業省に入省後、資源エネルギー庁や中心市街地活性化室などに勤務され、米国でも勤務経験を積まれています。

また、副市長就任に伴い、ご家族で日南市においでいただいたとのことです。

少しでも早く日南市に慣れていただき、これまでの経験を存分に発揮していただくことを期待します。

## 主な報告案件

■平成26年度日南市健全化判断比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により、平成26年度決算に基づく健全化判断比率を公表したものです。(詳しくは、4ページの表をご覧ください。)

■平成26年度日南市公営企業資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、平成26年度決算に基づく資金不足比率を公表したもので、全ての会計において資金不足はありませんでした。

## 一般会計補正予算の概要

■議案第77号 日南市一般会計補正予算(第2号)

(原案可決)

今回の補正額は12億800万円です。主に国庫補助事業である地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業や学校環境の整備に関する経費で、補正後の予算総額は275億4600万円となります。

### 〈補正予算の主な事業〉

◇先端計測とAIシステムを活用した営農支援事業

(2695万円)

宮崎県のブランド品目として、全国的に知名度の高い「太陽のたまご(マンゴー)」の認定率向上と農家の所得増のため、農家の熟練技術のデータ化や生物生理の科学的解明について研究機関等と連携し、マンゴー栽培技術の向上を図るものです。



太陽のたまご

◇赤と青増殖計画!プロ野球盛り上げ対策事業

(6088万6千円)

広島東洋カープ及び埼玉西武ライオンズ春季キャンプの受け入れ体制の充実を図り、キャンプに訪れた観光客に対するおもてなしを行うため、観光物産展の開催や、グッズ等の製作、シャトルバスの運行などを行う経費です。

◇まちづくり推進事業

(789万6千円)

北郷インターチェンジ周辺の土地  
利用調査のための経費です。

◇個人番号カード交付事業

(2167万5千円)

平成28年1月から開始される個人  
番号カードの交付業務に係る経  
費です。

◇大島活性化プロジェクト活動支  
援事業

(100万円)

大島の可能性を調査、研究する  
ための組織を設立し、ワークショ  
ップの開催などにより、大島の活  
性を図るものです。

◇小学校施設整備事業

(3426万円)

◇中学校施設整備事業

(2508万2千円)

非構造部材の耐震化事業を実施  
するため、改修工事を行うもの  
です。

〔工事箇所〕

- ・ 東郷小学校 外壁
- ・ 南郷小学校 体育館照明器具
- ・ 飯肥中学校 体育館屋根

その他の主な議案等

■議案第81号 日南市個人情報保  
護条例及び日南市情報公開・個  
人情報保護審査会条例の一部を  
改正する条例

(原案可決)

行政手続きにおける特定の個人  
を識別するための番号の利用等に  
関する法律が公布され、保有する  
特定個人情報への適正な取扱いを確  
保することに伴い、特定個人情報  
の開示、訂正、利用停止等の請求  
その他必要な措置について、所要  
の改正を行うものです。

■議案第84号 日南市手数料条例  
の一部を改正する条例

(原案可決)

行政手続きにおける特定の個人  
を識別するための番号の利用等に  
関する法律が公布され、通知カー  
ド及び個人番号カードの交付が開  
始されること等に伴い、再交付の  
手数料等について、所要の改正を  
行うものです。

■諮問第3号、諮問第4号及び諮  
問第5号 人権擁護委員の推薦  
につき意見を求めることについ  
て

(原案同意)

現在の人権擁護委員3名の任期  
が本年12月31日で満了することに

伴い、新たに3名の方を推薦する  
ことに対し、意見を求められたも  
のです。

- 中吉 忠哉氏
- 佐藤 幸一氏
- 竹井 三千代氏

討 論

本会議において、次の議案に対  
して討論がありました。

■議案第77号 日南市一般会計補  
正予算(第2号)

〔反対討論〕

マイナンバー制度に対応する予  
算が含まれているが、この制度は  
世界の流れに逆行する時代遅れの  
制度である。情報漏えい等、大き  
なりリスクがあり、国民の理解が広  
がっていない中においては、急ぐ  
必要はない。

■議案第81号 日南市個人情報保  
護条例及び日南市情報公開・個  
人情報保護審査会条例の一部を  
改正する条例

〔反対討論〕

マイナンバー制度は、情報漏え  
いを100%防ぐ方策はなく、ま  
た、この条例改正は、個人情報の  
取り扱いにおける例外規定を追加  
しており、本条例の個人情報の保

護という目的に矛盾している。

■議案第84号 日南市手数料条例  
の一部を改正する条例

〔反対討論〕

マイナンバー制度は、多くの国  
民がその内容を詳しく知らず、情  
報漏れの不安を広げている。自治  
体も企業も対策が遅れているなか、  
実施に突き進むのは無謀である。

■請願第1号 「集团的自衛権」に  
関わる法整備に反対する意見書  
の提出を求める請願書

〔賛成討論〕

違憲かつ立法事実そのものがな  
い法整備には反対であり、請願の  
趣旨に賛同するものである。法整  
備はされたが、議会が反対の意思  
を示さなければ、議会自らが立憲  
主義を否定する側に身をおくこと  
になる。

■陳情第2号 川内原発再稼働に  
ついて公開住民説明会を求める  
陳情書

〔賛成討論〕

住民説明会開催の要求は、市民  
の知る権利という観点から当然の  
要求であり、九州電力株式会社と  
とつても、本来、安全の確保を市  
民に訴える機会にもなる。

# 平成26年度一般会計歳入歳出決算 などを認定

## 会計別決算の状況

### ●一般会計

(単位:千円)

区 分	歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計	28,367,292	27,604,482	762,810

### ●特別会計

(単位:千円)

区 分	歳 入	歳 出	差 引
国 民 健 康 保 険	8,981,942	8,656,305	325,637
後 期 高 齢 者 医 療	807,125	801,047	6,078
介 護 保 険	6,135,511	6,019,280	116,231
簡 易 水 道	231,523	208,148	23,375
農 業 集 落 排 水	28,010	24,964	3,046
漁 業 集 落 排 水	23,148	22,255	893
公 設 合 併 処 理 浄 化 槽	148,018	104,869	43,149
計	16,355,277	15,836,868	518,409

### ●企業会計

(単位:千円)

区 分	取 入	支 出	差 引	
病 院 事 業 会 計	収益的取支	1,231,966	1,231,054	912
	資本的取支	74,618	166,718	△92,100
公 共 下 水 道 事 業 会 計	収益的取支	1,082,442	1,250,832	△168,390
	資本的取支	747,396	1,050,330	△302,934
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 会 計	収益的取支	153,959	146,845	7,114
	資本的取支	53,474	96,029	△42,555
水 道 事 業 会 計	収益的取支	1,340,778	1,151,817	188,961
	資本的取支	525,362	945,064	△419,702

※病院事業会計、公共下水道事業会計、特定環境保全公共下水道事業会計および水道事業会計の資本的取支の不足額は、損益勘定留保資金などでの補てんがされており、現金取支における損失はありません。

## 健全化判断比率

(単位:%)

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	(△4.65)	(△20.17)	11.9	104.4

- ① 実質赤字比率の「-」は、実質赤字額がないことを示しています。  
 ② 連結実質赤字比率の「-」は、連結実質赤字額がないことを示しています。  
 ③ 黒字の場合は、参考値として下段に比率を( )で表示しています。

認定第1号「平成26年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について」など認定12件と議案第74号「平成26年度日南市特定環境保全公共下水道事業未処分利益剰余金の処分について」など議案3件の計15件を、議長及び議会選出監査委員を除く議員で構成する決算審査特別委員会において、10月7日から9日の3日間審査を行いました。

## 討 論 の 要 旨

■認定第1号 平成26年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について

《反対討論》

① マイナランバー制度は、情報漏えいの危険性を持ち、この制度への予算執行は認められない。

② 高校生には、将来を見据えて問題意識を持ち、現状を切り拓く力を身につけさせることが教育であり、高校生予備校派遣事業は教育にはなじまない。

③ 南郷町総合支所の耐震調査は、無駄な執行である。

④ 税徴収について、預金の差し押さえには慎重であるべき。

■認定第2号 平成26年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について《反対討論》  
 5年連続の増税により、国保税の負担は市民生活を深刻にしております、市はあらゆる手を尽くして、市民が払える国保税にすべきである。

■認定第10号 平成26年度日南市公共下水道事業会計決算の認定について

■認定第11号 平成26年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計決算の認定について《反対討論》  
 昨年10月から下水道料金が34%引き上げられ、市民の負担が増えている。また、下水道料金と一体徴収している水道料金の徴収率も、前年度比で0.2ポイント低下している。

# 分科会審査より

## 第1分科会 (総務文教部門)

### 〔消防本部〕

◇消防団員の確保について

#### 〔質疑の概要〕

〔問〕消防団員の条例定数は1406人だが、年々、団員確保が難しくなってきた。機能別の消防団組織や消防団OBでつくる新たな組織づくりも考えるべきだとおもうが、こういった対策をとるのか。

〔答〕団員の確保については、今、ご指摘のあった考え方をふまえて、現在、検討を始めているところである。

### 〔生涯学習課〕

#### ■図書館費

〔6371万円〕

蔵書の充実を図り読書活動を推進するとともに、司書資格者を配置することで利用者への迅速な対応が可能となり、サービスの向上が図られました。

#### 〔質疑の概要〕

〔問〕貸出冊数が年間約、248000冊、市民一人当たり4・3冊で、利用が伸びている理由をどう分析しているか。

〔答〕貸出冊数を5冊から10冊に増やしたことのほか、月二回以上の貸出利用者が2000人いること、「旅する読書」事業で、読書冊数100冊以上が53人、50冊以上が112人いるなど、一連の施策が一定の効果を出している物と思う。

### 〔財務課〕

◇遊休財産管理について

#### 〔質疑の概要〕

〔問〕遊休財産の有効活用に努められているが、売却促進のためには、売却条件（購入後10年以内には、家を建築）などを緩和することも必要ではないか。

〔答〕今後の検討課題としたい。

〔問〕売り払い価格が高すぎないか。一方で、価格引き下げは、周辺の土地価格評価に影響を与えかねない面もあると思うが、どう考えているか。

〔答〕価格引き下げには、慎重な対応が必要と考える。

◇日南下水終末処理場跡地の太陽光発電所事業について

#### 《市からの現状説明》

売電収入から管理運営を委託している未来エナジー社への支払いを差し引いた市の収入額は、本格

運転を開始した8月は約240万円、9月は約170万円であった。

### 〔北郷町総合支所〕

#### ■過疎集落等自立再生対策事業

〔1000万円〕

少子高齢化が進展する北郷地区において、NPO法人に委託し、高齢者の買い物支援と併せた見守り活動や、自治会と連携した希薄化する地域コミュニティの再構築など、課題となつている集落機能の維持及び活性化に取り組みしました。

#### 〔質疑の概要〕

〔問〕地域の抱える課題解決とニーズに 대응するために、買い物弱者支援事業（移動販売）に取り組みされた。国の交付金事業を活用したものであるが、事業の継続性はどうか。

〔答〕移動販売については、利用者のプライバシー保護の問題など、具体的な課題が明らかとなったので、今後の取り組みに生かしていきたい。

### 〔南郷町総合支所〕

#### ◇南郷町総合支所庁舎耐震診断事業について

#### 《市の説明》

診断の結果は「耐震なし」で、補

強を行えば費用は1億円以上を要する。

#### 〔質疑の概要〕

〔問〕南郷町総合支所に耐震診断を実施している。結果はわかっていたことと思うが、実施に至った経緯について説明を。

〔答〕市としては、耐震診断が必要と判断し、予算を計上のうえ、執行した。

### 〔職員課〕

◇職員の健康管理・福利厚生の実について

#### 《市の説明》

病気休暇者数がのべ106人で、うち80%がインフルエンザによるものである。

メンタル疾患は14名（うち現在2人が病休中、3人退職、9人が現場復帰）である。

◇人件費（時間外手当）について

#### 《市の説明》

昨年度で約500万円増加している。原因として、生活保護の増加に伴う事務量の増加、農政課、商工政策課、観光・スポーツ課など、新規事業を行ったことによる仕事量の増加があげられる。

## 第2分科会 (市民厚生部門)

### 【健康増進課】

#### ■妊婦健診・妊産婦等訪問事業

(3438万2千円)

妊婦及び乳児等の健康管理の向上を図りました。

ア 母子健康手帳交付

イ 妊婦健康診査事業

受信件数 延べ 4523人

#### ■がん検診推進事業

(1192万4千円)

特定の年齢に達した方に対して、子宮頸がん、乳がんおよび大腸がんに関するがん検診手帳及び検診費用が無料となるクーポン券を送付し、がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図りました。

ア 子宮頸がん検診 321人

イ 乳がん検診

(ア) 視触診検診 514人

(イ) マンモグラフィ検診

ウ 大腸がん検診 439人

631人

#### ■日南市立中部病院経営健全化事業

(673万8千円)

中部病院経営健全化計画策定に

あたり、圏域内医療重要分析等基礎的データの収集分析のための基礎調査業務を委託により実施し、計5回の日南市立中部病院経営健全化検討委員会を開催し、計画を策定しました。

### 【長寿課】

#### ■高齢者住宅改造助成事業

(99万8千円)

高齢者の在宅生活の維持向上及び介護者の負担軽減を図ることを目的とし、在宅高齢者の住環境の整備費用に対して助成しました。

・改造助成件数 2件

#### ■シルバー人材センター事業

(799万円)

高齢者の生きがいの充実のため、豊富な社会経験や能力を引き続き発揮できる就労の場の確保と拡大を目的に、シルバー人材センターに対し助成しました。

・会員数 281人

#### ■独居高齢者等見守り事業

(5千円)

一人暮らしの高齢者等を訪問する連絡員との連携を図りました。

・愛の訪問連絡員登録高齢者数

1127人

・連絡員数

880人

#### ■在宅医療・介護ネットワーク構築モデル事業 (1000万円)

在宅医療・介護の連携促進を図るため、日南市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し在宅医療・介護連携推進の課題解決に取り組みました。

また、県内のモデルとなる在宅医療介護の情報共有システムの開発を実施しました。

### 【こども課】

#### ■放課後児童対策事業

(2662万5千円)

学校の放課後及び夏休みの期間、保護者が就労等で面倒をみることでできない小学校1年生から3年生までを対象に学校施設等で保育を実施しました。

#### 【実施校】

・吾田小学校 50人

・第2吾田小学校 (あがた幼稚園)

19人

・吾田東小学校 60人

・第2吾田東小学校

28人

(県営馬越団地集会所)

・油津小学校 47人

・飯肥小学校 35人

・南郷小学校 31人

・北郷小学校 39人

#### ■学童保育事業

(47万1千円)

夏休み期間中、保護者が就労等で面倒を見ることができない小学校1年生から3年生までを対象に学校施設で保育を実施しました。

#### 【実施校】

・東郷小学校 21人

#### ■子育て応援事業

(236万7千円)

親子で安心して遊べる場所の提供や保育士による一時預かり、子育てに関する相談事業など、つどいのひろば「おひさま」及び「きらきら」の運営を行いました。

・年間利用者数 16972人

#### ■ファミリーサポートセンター事業

(300万円)

地域の中で子育てを助け合う、ファミリーサポートセンター事業を実施しました。

・利用会員 130名

・援助会員 47名

・両方会員 9名、計186名

・援助活動件数 621件

#### ■こども医療費助成事業

(1億1742万8千円)

乳幼児及び小学校修了までの児童に対し、医療費等の一部を助成することにより、子育て家庭の負担軽減や乳幼児及び児童の健康増進や福祉の向上を図りました。

## 第3分科会 (産業建設部門)

### 〔水産林政課〕

#### ■水産加工経営力改善事業

(400万円)

日南市漁協女性部加工グループの増収を図り、従業員の賃上げにつなげるため、経営改善、事業計画の作成及び販路拡大を図りました。

### 〔質疑の概要〕

(問) 「魚うどん」は、テレビ放映等のPR効果で注文が殺到し品切れ状態である。今後どうするのか。  
(答) 加工グループの経営に対する取り組み如何である。機械を導入した丸万はハモを使い、約1万食を作る。予約はあるが原料不足で生産が追い付かない。加工組合とは情報交換をしている。

### 〔農政課〕

#### ■みやざき発「にちなん発」オリブ産地化プロジェクト事業

(75万円)

市内の生産農家の意思に基づく組織である「にちなんオリブプロジェクト」が実施したオリブ生産技術及び加工・販売等に関する研究に対し助成しました。

### 〔質疑の概要〕

(問) 今後の見通しはどうか。  
(答) 現在7年目で13戸が取り組み、約1100本ある。15・3kgとれ搾油も試した。生産者は意欲的に取り組まれており、推移を見守りたい。

### 〔商工政策課〕

#### ◇油津商店街再生について

### 〔質疑の概要〕

(問) 中心市街地活性化事業は予定通り進んでいるのか。  
(答) 新規に2店舗(あぶらつコーヒーと湯浅豆腐店)が出店した。屋台村も今年11月21日に完成する。また、サボマネの替わりができるような人材を油津応援団で正規雇用し、育成している。

### 〔観光・スポーツ課〕

#### ■日南線観光列車活用促進事業

(379万2千円)

日南線の観光特急「海幸山幸」の運行5周年記念イベントのほか、各停車駅での植栽や沿線の花のビューポイントづくりを行いました。また、餌肥駅での特産品の試食・販売などを行う日南市観光協会に対して助成を行い、観光客への「おもてなし」を図りました。

### 〔質疑の概要〕

(問) 「海幸山幸」の運行状況はどうか。

うか。

(答) 観光列車は定期運航(土、日、祝祭日)で151日。14159人の利用者があり、乗車率は92%。臨時運行(チャーター30人以上)が49回あり、2294人の利用者があった。

### 〔水道課〕

#### ◇水道料金の徴収率について

### 〔質疑の概要〕

(問) 水道料金徴収率が下がっているが状況はどうか。  
(答) 下水道料金も一緒に徴収しており、昨年、下水道料金が上がったためとも分析できる。コンビニ納付をはじめ、利便性は向上したが、徴収率は上がっていない。未納者への対応として、2ヶ月滞納すると催促状を出し、3ヶ月滞納すると給水停止している。相談で分納などしている。現在も12件給水停止している。

### 〔下水道課〕

#### ◇公設合併浄化槽について

### 〔質疑の概要〕

(問) 公設合併浄化槽の普及状況はどうか。  
(答) 目標は1年間に150基であるが、平成25年度に97基、26年度に87基と目標に届いていない。普及が問題である。

### 〔建築住宅課〕

#### ◇市営住宅の空き家状況について

### 〔質疑の概要〕

(問) 市営住宅の空き家状況はどうなっているか。  
(答) 建て替えや廃止のための政策的空き家が134戸。今後の計画は、既存住宅の長寿命化を進め、新築は考えていない。

### 〔建設課〕

#### ■日南振徳高等学校通学路整備事業

(8333万9千円)

県立高校統合に伴い、生徒数の増加に対し、交通事情が変化していることから、地域住民や通学生の安全を確保するため、国庫補助事業による道路整備を行うことに伴う家屋及び用地の補償を行いました。

### 〔質疑の概要〕

(問) 日南振徳高校通学路整備事業はいつ頃までかかるのか。  
(答) 6件の家屋等の補償と7件の用地買収を行った。完成時期は、現時点で未定である。





# 市政を問う!

## 一 般 質 問

平成27年第4回定例会における「市政に対する一般質問」は、9月25日、28日、29日の3日間行われ、12人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

質問の方法は「①一括方式(現行方式)」、「②一部壇上方式」、「③一問一答方式」より、議員が選択して実施しました。

- ① 一括方式とは … 議員が一括して壇上で質問し、市長が壇上で一括して答弁した後、再質問を質問席で行う方式です。(今までがこの方式です。)
- ② 一部壇上方式とは … 議員が質問の一部を壇上で質問し、市長が壇上で答弁した後、議員が質問席から一問一答でやり取りする方式です。
- ③ 一問一答方式とは … 議員が冒頭から質問席で市当局と一問一答でやり取りする方式です。

**以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。**

※ 質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。詳しくは、日南市議会事務局(電話:0987-31-1142)までお尋ねください。

### 〈登壇者と質問項目〉

- ① 谷口 慎二 議員(一部壇上) [市の花木による街づくりについて、農業振興について、建設行政について、庁舎建設について、AEDの設置について、住民サービスについて、ネット回線について、河川管理について]
- ② 杉尾麻起子 議員(一括方式) [市長の政策取り組みへの姿勢について、高速道路と用途地域について、マイナンバー制度について、子育て支援について、教育問題について、選挙について]
- ③ 川越 昇 議員(一部壇上) [観光振興について、農業政策について、教育行政について]
- ④ 黒部 俊泰 議員(一括方式) [いじめ防止の取り組みについて、総合教育会議の取り組みについて、就学援助制度の拡充について、子ども医療費の助成について、観光行政について、消費者教育推進計画の策定について、防災について]
- ⑤ 井福 秀子 議員(一部壇上) [防災対策について、マイナンバー制度について、放課後児童クラブについて]



- ⑥ 和足 恭輔 議員(一部壇上) [市道・公園等、公共施設に隣接する山林等所有者への経済的支援について、地域に密着した「道の駅」なんごうによる地域活性化について、介護保険見直しによる、市の総合支援事業について、「知産知消」による地域活性化について]
- ⑦ 山本 定則 議員(一部壇上) [財政対策について、クルーズ船対策について、漁業問題について、農業問題について、医療問題について、土木行政について、環境対策について、自殺対策について]
- ⑧ 岩永 憲明 議員(一部壇上) [防災対策について、図書館の現状について、教育行政について、議会に対する認識について]
- ⑨ 林 一彦 議員(一部壇上) [マイナンバー制度について、日南市重点戦略プラン及び補正予算案について、道路行政について]
- ⑩ 小玉 弘明 議員(一括方式) [企業誘致について、学校教育について、学校給食について、高齢者の支援について]
- ⑪ 北川浩一郎 議員(一部壇上) [市長の政治姿勢について、観光行政について、資源リサイクルについて、高齢者対策について]
- ⑫ 濱中 武紀 議員(一問一答) [市庁舎建て替えについて、観光拠点施設について、安心と安全の街づくりについて、教育行政について、消防行政について、国道220号について]



自由民主党日南市議団  
谷口 慎二 議員

**市の花木による街づくりについて**

(問) 市の花木となったジャカラランダ、桜をどのようにして普及(植樹)、意識づけを行って行くのか。

(答) 祭りを開催しPRを行っていき。また、ふるさと納税にもジャカラランダの苗の追加も行った。

**農業振興について**

(問) 農地中間管理事業について事業の進捗状況はどうか。

(答) 26年度の実績は5地区、27年度見込みは3地区で協議中が5地区ある。

**建設行政について**

(問) 建設業界の方々が残土処理場探しに苦慮されている。市が用地を確保し準備する考えはないか。

(答) 準備は困難だが、今後、請負者の負担軽減等を検討していく。

(問) 残土処理場への運搬距離について、協議をされたのか。

(答) 積算と実施の差異について協会との意見交換を行った。また、市長から軽減策について検討指示が出ているので運搬距離についても検討する。

**庁舎建設について**

(問) 進捗状況はどうか。

(答) 「みんなで考える市役所検討委員会」を設置し、検討した結果、現在の場所に建替える方針である。

**AEDについて**

(問) 24時間営業のコンビニに、市が準備し、設置して頂くのはどうか。

(答) 全国や県内の動向を見極めながら支援策等研究していく。

**住民サービスについて**

(問) 休日にコンビニで印鑑証明など証明書発行はできないか。

(答) マイナンバー制度導入と合わせて進めていく。

**ネット回線について**

(問) エリア拡大助成はできないか。

(答) 28年度補助事業で研究する。



市役所庁舎前のジャカラランダ



自由民主党日南市議員  
杉尾麻起子

**高速道路と用途地域について**

**(問)** 高速道路建設を前に、土地政策、用途地域の見直しに着手すべきではないか。

**(答)** 土地利用については、農業振興地域の除外を含めて、検討したい。  
**子育て支援について**

**(問)** 5歳の時期は、集団生活に向けた経験を積む大事な準備期間である。行動面、運動面、言語面での問題課題を早期に見出すことが必要である。そのために、5歳児の検診が必要となる。「5歳児健康検診」制度を創設し、適切な支援を図る考えはないか。

**(答)** フォローアップ事業として、市内の教育・保育施設を保育士が巡回し、集団での適応性の観察を実施しており、その後の相談や指導を、就学時まで切れ目のないように努めている。今後も現在の取組を継続し、検診や相談事業の充実を図っていきたい。

**子供医療費助成事業について**

**(問)** 0歳児から小学校卒業までが医療費助成の対象とされているが、中学生まで拡大される考えはないか。

か。

**(答)** 高校生までを対象とした母子家庭の医療費助成も実施しているため、助成の対象拡大については考えていない。助成については、全国どこに住んでいても同じサービスを受けられるように、国の責任において実施していただくよう、提言を行っている。

**技能体験の学習について**

**(問)** 介護士や看護師などの技能を学び体験させる授業は、国も積極的に奨励している。本市は積極的に欠ける地域性があるが、このことについて市はどう取り組むか。

**(答)** 大切な授業だと認識しているので、「心豊かな学校づくり推進事業」を通じて、それらの体験活動を行っている。

**図書館へのパソコン持込みについて**

**(問)** パソコンの操作は、入館者の邪魔にならないと思うが機材の持込みはできないか。できれば、ネットアクセスが可能な無線LAN(ラン)でも整備できないか。

**(答)** 読書図書以外の3館は利用可能とした。WiFi(ワイファイ)の導入について研究したい。



自由民主党日南市議員  
川越 昇

**日南市観光振興計画について**

**(問)** 日南市観光の内外への情報発信強化で、特にプロモーションをどうやっていくのか。

**(答)** 効果的なプロモーション体制の構築と県内外への効果的な情報発信に取り組んでいく。具体的には、宿泊施設や飲食施設等とに行っている宣伝活動を集約し、市として一元化した観光戦略プロモーションを行う体制を構築し、さらに観光客が本市で体験したいことや期待することを把握し、それに応えるプランを構築・提案すること、来訪意欲や再来訪意欲を喚起したい。

**(問)** 学校での観光教育の進め方について、教育長の考えはどうか。

**(答)** 現在、学校において、職場体験学習として観光産業への就労体験も可能となっており、教育委員会における観光教育の実践については、キャリア教育との関連を明確にし、現在、学校が取り組んでいる内容が充実されるよう支援をしていきたい。

**農業政策について**

**(問)** 地産地消を含めた農産品の市内消費の拡大をどう進めていくのか。

**(答)** 市内消費経済の好循環を継続・発展するためにも、新たな直売所マップを作成し周知を図るとともに、直売所間の連携や情報共有などを支援していく。また、日南産農産物等の消費につながる料理教室や、商品開発・販売を行う生産者やグループ等への支援を関係機関と連携して行う。

**教育行政について**

**(問)** 今後の総合教育会議の進め方について、市長の考えはどうか。

**(答)** 今年6月8日に会議の要綱について協議した。次回は実質的な第一回目として年内に開催し、大綱の策定について協議を行う。

**(問)** 国際交流事業の重要性について、教育長の考えはどうか。

**(答)** 多くの観光客が、本市の歴史的・文化的な魅力を体感し、その良さを深く理解してもらうことが重要であると同時に、本市の小中学生が、積極的に海外に目を向け、諸外国との相互理解を深めるため、国際交流事業は極めて重要である。



公明党日南市議員  
黒部 俊泰 議員

**いじめ防止の取り組みについて**

(問) 日南市いじめ防止基本方針の策定時期はいつか。

(答) 今年度内のできるだけ早い時期を考えている。

(問) 滋賀県大津市のいじめ自殺事件を教訓とし、市長部局において、条例で「重大事態」の再調査等を行う機関を設置しないか。

(答) できるだけ早く、設置に向けて検討をする。

**総合教育会議の取組について**

(問) ホームページを活用した、情報公開の取組が重要と考えるがどうか。

(答) 2回目の会議は、11月頃を予定しており、議事録をホームページで公開したいと考えている。

**就学援助制度の拡充について**

(問) 福岡市において、入学準備金の3月支給が実現した。今後の取組はどうか。

(答) 手続き、やり方の問題なので、前向きに検討する必要がある。

**防災について**

(問) 油津中学校の津波避難場所は、管理棟3階である。授業中に、大

きな地震が発生した場合であっても、管理棟の3階に避難指示をされるのか。「釜石の奇跡」の避難の三原則では、生徒の主体性が重要とあるがどうか。

(答) 間違いなく、管理棟3階への避難を指示するが、想定外を考えれば、非常に怖い。大丈夫とは考えるが、絶対ではないので、今後協議していかなければならない。

(問) 見法寺団地は、6階建ての建物が2棟あり、多くの人が避難できる。学校からも近く、前議会で提言したが、検討はされないか。

(答) 学校付近で一番高いのは、見法寺団地と認識している。今後も、津波避難場所としては、学校の3階。次には、そこが挙がる。



校舎の3階が、津波避難場所に指定されている、日南市立油津中学校。

**防災対策について**

(問) 市の防災計画では、河川、ため池など20箇所以上で堤防決壊が予想されている。堤防補強対策はどうなっているか。

(答) 伊比井、宮浦、風田、細田川の4河川については本年度より津波・高潮・耐震対策に着手する。広渡川や酒谷川の河口部でも堤防の補強対策が取り組まれる予定であり、益安・戸高・大根川でも護岸の整備が行われている。

(問) 今まで、日南市内でどれだけ河川対策が取られてきたか。

(答) 広渡・酒谷・戸高川の3河川で、浸水被害を軽減するため、橋梁架け替え、築堤及び河床掘削などの河川改修を実施してきた。

(問) 大雨、洪水に対する避難訓練を全自治会で取り組む必要があると思うが、実態はどうか。

(答) 今年度から防災専門官を配置し地域の防災力向上を図っている。18箇所の自主防災組織が避難訓練や防災講話を実施している。

**マイナンバー制度について**

(問) 大人から子どもまですべての



日本共産党日南市議員  
井福 秀子 議員

国民に個人番号を付ける共通番号マイナンバー制度が10月から施行され、全国民に郵送で番号が通知される。そもそもどんなものか。

(答) 一人一人異なる12桁の番号をマイナンバーといい、社会保障や税、災害対策などの分野で、効率的に情報管理を行う。

(問) 年金機構から個人情報流出する事件が起きたが、セキュリティ対策は取られているのか。

(答) 機器の設置などハード面に加え、職員の意識徹底を図る研修も開催し対策を講じている。

(問) 中小企業は番号を管理するための対策費用負担もあり、番号が流出したら重い罰則もある。市として、何か手立てはないか。

(答) 十分な広報活動に努めたい。

**放課後児童クラブについて**

(問) 東郷小でも設置してほしいという切実な声がある。夏休みにアンケートを取るということであったが、結果はどうであったか。

(答) 45人の方から、開設すれば利用したいとの回答があった。関係機関と検討を進めていきたい。

(問) 一刻も早く全小学校で実施すべき。計画はどうなっているか。

(答) 9校が実施していないが必要性の高い校区から実施したい。



日本共産党日南市議員  
和足 恭輔 議員

**「道の駅」なんごうによる地域活性化について**

**(問)** 様々な事業展開で観光日南の名所として全国に発信し、実績を重ねており、今後の取組にも期待しているが、一方で、地場産品の出品の少なさ、職員の入れ替わりの激しさなどを指摘する声もある。市は現状と課題をどう認識しているか。

**(答)** 従業員の雇用は、道の駅の経営の裁量内であり、地元産品の活用は生産者の会のルールに基づき取り扱われていると考えている。

**介護保険法見直しによる市の総合事業について**

**(問)** 国のガイドライン案に縛られる必要はないと思うが、ガイドライン案で示された「多様なサービス」の提供として、どういうサービスを考えているか。

**(答)** 要支援1、2の方に限らず、この事業に該当する方の状態に応じたサービスの提供が重要であり、現在、事業の内容を検討中である。

**知産知消による地域活性化について**

**(問)** 「知った人から買って、売った人も食べている人を知っている」生産者と消費者の関係、「顔」が見える双方方向の関係を築く「知産知消」に戦略的に取り組めないか。

**(答)** マーケティング専門官が企画した「ラディッシュセブン」との「日南フェア」は、生産者が参加し、生産者の食材を使い、生産者から流通の課題や生産現場の生の声を聞けることで、消費者から大変好評を得た。市内16の農林水産物直売所や加工グループも知産知消に取り組んでいる。さらに、インターネット販売や柑橘類の六次商品化の開発販売を行う方も増えているので、新たな生産者等へ研修会の案内や支援を行いたい。



市内の介護施設でのデイサービスの様子。



社民クラブ  
山本 定則 議員

**財政対策について**

**(問)** 交付税は平成28年度から段階的に減少し、平成33年度は現在より約13億円少ない交付額となり、非常に厳しい財政運営を強いられることになるが、どのように対策をとるのか。

**(答)** 国は26年度以降5年程度の期間で、普通交付税の算定方法を見直し、削減額を緩和することとなった。13億円も減少することはないが、厳しい財政運営が予想されるので、本年3月策定した第二次日南市行政改革大綱に基づき行政改革を進めていく。

**観光対策について**

**(問)** クルーズ船寄港を受けて、市長の感想を伺う。

**(答)** 経済効果は、8月31日までの4回の寄港で約1億6500万円の直接的な消費があり、当初の見込みを大きく上回る結果となった。テレビ局などマスコミに大きく取り上げられ、大型クルーズ船の寄港は想像以上の反響があった。今後の課題も見えてきたので、更に受入体制の充実を図っていく。

**漁業問題について**

**(問)** 沿岸漁業の放流事業について、新たにベイ貝、ハマグリ等を放流できないか。

**(答)** 貝類の放流は、過去にアワビやハマグリでの実績はあるが、近年では、本市近郊の漁場が貝類の成長に適していないとの理由により実施していない。市としては、今後も漁業者及び関係機関と連携し、効果的な栽培漁業に向けた支援を行う。

**土木行政について**

**(問)** 南郷中央川は、これまでにも、市が堆積した土砂等の撤去など整備したが、最近では土砂の堆積に加え、藻類の繁殖が著しく、排水が滞留し悪臭を放っている。早急な手立てができないか。

**(答)** 本河川は、南郷地域の中心部を流れる重要な河川と認識している。一部の区間において、底版コンクリートが施されていないため、荒掘や土砂堆積を引き起こし草木の繁殖の原因となっていたので、昨年度から対策を講じているが、今後も適切な管理に努めていく。



社民クラブ  
岩永 憲明 議員

**防災対策について**

(問) 各家庭で一般家庭用の防災リュックの備えを啓発しないか。

(答) 非常持ち出し用の入った防災リュックを備える事は大変有効である。自分の身は自分で守るという観点から、これまで日南市防災マップや、今年の7月号の広報紙で災害時の非常持ち出しについて掲載したが、今後は各種訓練等を通じて更に普及啓発に努めるとともに、市民が求めやすい仕組みづくりを研究していく。

(問) 益安の消防団詰所にはトイレが無いが、市内消防団施設の現状はどうか。また、整備の予定はないのか。

(答) 市内の消防団施設は52箇所あり、そのうちトイレの無い施設は2箇所ある。消防団員の皆様は隣接する公民館等のトイレを利用して、現在の現状である。市としては、建設年次が古く、設備の不備、老朽化が著しい消防団施設については、順次、新築・改修していくので、今しばらくの間、現状での利用をお願いしたい。

**教育行政について**

(問) フッ化物洗口の導入に、保護者等にメリット・デメリットの両面を周知することとしたが、現在、どのような取組みを行っているのか。

(答) 昨年度、市内全校で教職員及び保護者に説明会を実施し、メリット・デメリットについて説明を行った。本年度は新1年生のみ就学時健診時に保護者に対して説明を行った。今後も、新1年生の就学時健診時に、説明を実施し、保護者の理解を得た上で、希望調査を実施していく。

**議会に対する認識について**

(問) 市政は二元代表制であり、議会は市政への監視役の要素がある。市長は7月の新聞アンケートでは、安保法制について、明確な意思表示をされているが、6月の本会議では、2人の議員が安保法制案について質問した際には、明確な意思表示がなかったが、議会に対する認識を問う。

(答) 県内自治体の首長を対象としたアンケート依頼があった。継続的に法案への理解を深める努力をし、新聞等の報道や、首相本人のテレビ出演による説明などを通し、熟慮を重ねて考えを整理した。



社民クラブ  
林 一彦 議員

**日南市重点戦略プランについて**

(問) 県は生活保護世帯等の低所得世帯に対して、認定子ども園、幼稚園、保育所等の給食費等の一部を補助することを検討中と聞くが、市でも独自に何らかの補助はできないか。

(答) 現在のところ取り組む考えはない。ひとり親家庭への就労支援や、資金貸付事業の促進をはじめ、生活自立サポートセンターの活用など、困り感のある方への各種相談事業の充実に努めていく。

(問) オリーブ事業を、どう取り組むのか。

(答) にちなんオリーブプロジェクトとして、平成23年度から28年度までの6か年を実証期間と位置づけ取り組んでいる。現在、市内で16人の方がオリーブの栽培を行っており、約2500本が植栽されている。栽培を始めてからの年数が浅く、栽培技術や搾油・加工技術がまだ確立されていないので、引き続き栽培実証を続けていく。

(問) 施策の「地産地消と食育の推進」に学校給食への食材提供など

による地産地消や食育の推進とあるが、学校給食では、どのような取組みを行うのか。

(答) 学校給食関係者と農業生産者等関係団体との食材供給体制の整理のため、どの時期に、どんな作物を供給できるか、学校給食関係者に情報を提供し、学校給食側のニーズを生産者側に知ってもらうなど、安定供給のための支援づくりへ向け、関係機関との情報共有、連携が必要と考える。

**道路行政について**

(問) 妻手川西谷橋から影平東光寺線までの里道は、農地利用や付近の住宅環境の変化で道路整備の要望がある。市内には、このような生活道路として利用されている里道があり、地域住民から道路環境の改善を要望する声があると聞く。市長はどう対応するのか。

(答) 支援策として、里道を受益戸数や延長等で3段階に区分し、区分に応じた分担金で整備を行う里道舗装整備事業や地域住民自ら整備を行い、砕石や生コンクリートなどの原材料支給、重機借上げの補助を30万円の範囲で行う地域環境整備支援事業がある、受益者や地元による適切な管理をお願いする。



無会派  
小玉 弘明 議員

**企業誘致について**

**(問)** 現在の社会経済情勢において、積極的に企業誘致に取り組むべきと思うがどうか。

**(答)** 物流環境の改善を追い風に、本市の地域資源を活かしていけるような企業や、市内の既存企業の関連企業等を視野に入れた誘致活動を行っていきたい。

**学校教育について**

**(問)** 本市は、タブレットを使ったICT教育を、今後どのように推進されていくのか。

**(答)** 今後、検討委員会を設立し、他の市町村への視察等を進めながら、効果的な活用方法を確立させた上での段階的な導入が適当であると考えている。

**問** トップアスリート育成の具体的な構想はあるのか。

**(答)** 県では、2026年の開催が内々定している宮崎国体を主眼においた小中学生選抜チームの合同練習会や、県内の小学4、5年生を対象に体力テストを実施し、体力のある児童を発掘し、その能力に応じた競技を勧める「世界に輝く宮崎の星！育成プロジェクト事業」に取り組んでいる。本市は、様々な形で積極的な支援をしていきたい。

**(問)** 専門性を持った外部指導者の登用は考えられないか。

**(答)** 外部指導者の登用が進まない要因の一つに、生徒指導上、日常の教育活動に関わっている教職員が部活動顧問として指導する方が、学校の指導方針や生徒理解が十分にでき、円滑な学校運営につながると思っている。

**学校給食について**

**(問)** 本市の過去5年間の未払い世帯の実態とその対策を問う。

**(答)** 未払いは、平成26年度は62件、126万2739円となっており、毎年100万円を超える未納額が発生している。学校給食の公平性を保つため、徴収をはじめとする未納対策に関与し、未納額の解消に努めている。

**高齢者の支援について**

**(問)** 買物や食事面等で困っている高齢者の現状はどうか。

**(答)** 支援が必要な人については、自治会や民生委員の方々と地域包括支援センターなどと連携を図り、情報を収集し、必要な支援を講じていきたい。



無会派  
北川浩一郎 議員

**市長の政治姿勢について**

**(問)** 重点戦略プランに明記されていないが、大学及び専門学校の誘致は考えていないのか。

**(答)** 大学等の誘致については、人口減少対策や地域活性化に大変有効であると認識している。しかし、少子化の影響もあり、大学の新設は大変厳しい状況と聞いている。成功した自治体でも、財政負担が大きくなっている事例も少なくない。しかし、今後、有効な情報があれば、検討する。

**(問)** 日南市が消滅可能性都市に含まれているが、人口減少問題に歯止めをかける手応えは感じているか。

**(答)** 人口減少に対する対策は、早ければ早いほど効果があると考えられる。「日南市重点戦略」や「次世代育成戦略」等に取り組み。そして、今後策定する市人口ビジョンにおいて、しっかり分析し、人口減少問題に対応していく。

**資源リサイクルについて**

**(問)** 平成29年度より廃プラリサイクルが始まるが、廃プラの対象品

目は何か、また市民はどの様に排出すればよいか。

**(答)** 対象品目については、プラスチック全般である。プラスチックと金属が混ざっている物については、分別が必要であるが、分別困難な物は、燃やせないゴミで出す。搬出方法については現在協議中である。現時点では廃プラ専用の袋を作成し、週一回の収集を考えている。

**問** 廃プラ以外に予定している新たな資源物の品目の選定状況はどうなっているか。

**(答)** 現在リサイクル率の向上を図るため、布類全般や毛布・靴・カバン類等について調査研究中である。平成29年度、廃プラリサイクルと併せての実施を目指している。

**高齢者対策について**

**(問)** 市内の一人暮らしの高齢者が増加している中、その実態の把握と対応をどう考えるか。

**(答)** 一人暮らしの高齢者支援対策については、民生委員を中心に愛の訪問連絡員制度や自治会、地域包括支援センターと連携を図り、支援を構じている。



改政クラブ  
濱中 武紀 議員

**観光拠点施設について**

(問) 観光拠点施設の現状はどうなっているのか。

(答) 旧ゲオの敷地に観光案内等を平成28年度の整備を目指していきたい。

**安心と安全の街づくりについて**

(問) 津波地震等の各区に配布した機材等の設置場所は適切か。

(答) 各自治会の自主防災組織と協議していきたい。

(問) 機材等の点検体制及び整備はどうなっているのか。

(答) 各自治会のイベント及び各種活動の中で、できるだけ使用していただくとともに、防災専門官による管理指導を実施していく。

**教育行政について**

(問) 市内の特別支援学校の教室は不足していないか。

(答) 必要に応じて、学級の新設・増設を対応しているので、不足してはいない。

(問) 障がい手帳のない児童生徒の支援策はどうなっているのか。

(答) 市の単独予算で、学習支援員、特別教育支援員を配置し対応して

いる。

(問) 統廃合となった学校の利活用の促進策はどうか。

(答) 国や財団等の助成事業を活用し、地域活性化につながる改修事業が実施できないか検討している。

**消防行政について**

(問) 年々減少する消防団員確保の対策はどうか。

(答) 処遇の改善策や資格の緩和等を行っているが、少子高齢化が進む中で、定数の確保は困難であると考ええる。

**国道220号について**

(問) 国道220号防災北区间の進捗状況はどうか。

(答) 北区间は、小内海から富士区間を国の直轄事業で取り組んでいるが、工事の整備率は事業費ベースで7%となっている。

(問) 事故が多発している旧潮小学校付近の安全対策はどうか。

(答) 今年度の半年で、25件発生している。宮崎河川国道事務所と日南警察署で協議がなされ、パトロール強化や看板等の設置など、事故防止対策が検討されているため、市としても要望する。

**『市民と語る日南市議会』を開催します!**

今年度も「市民の声を市政に反映させること」を目的に、市民の皆様との意見交換を主とした『市民と語る日南市議会』を、下記の9会場で開催いたします。

議員が班別に各地区を担当して議会報告を行うとともに、意見交換を行う予定にしています。

全市民の方を対象としておりますので、いずれの会場でも参加が可能です。市民の皆様のご参加をお待ちしております。

**■ 平成27年度『市民と語る日南市議会』開催日程 ■**

日 時	地 区	会 場	担当班
11月6日(金) 午後7時～	東郷地区	東郷公民館 和室	1班
11月10日(火) 午後7時～	油津地区	まなびピア 視聴覚室	3班
11月11日(水) 午後7時～	吾田地区	ふれあい健やかセンター 5階大会議室	1班
11月12日(木) 午後7時～	北郷地区	ふれあい交流センター	2班
11月12日(木) 午後7時～	細田地区	都市農村交流センター 和室	3班
11月13日(金) 午後7時～	南郷地区	ハートフルセンター 小ホール	3班
11月17日(火) 午後7時～	鶴戸地区	鶴戸集会所	1班
11月17日(火) 午後7時～	酒谷地区	酒谷支所 大会議室	2班
11月18日(水) 午後7時～	飫肥地区	小村記念館 大会議室	2班

※報告会は、1時間30分から2時間程度を予定しています。

**【担当議員 班構成】**

1班	井戸川 格、井福 秀子、濱中 武紀、岩永 憲明、林 一彦、黒部 俊泰、郡司 誠秀
2班	倉岡 郁夫、福岡 浩一、前田 幸雄、川口 和也、川越 昇、小玉 弘明、杉尾 麻起子
3班	田中 重信、中尾 貞美、和足 恭輔、山本 定則、山田 一、谷口 慎二、北川 浩一郎

## 審議結果一覧

※平成27年第4回定例会の審議結果を掲載しております。



### 【第4回定例会】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
報告第12号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第13号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第14号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第15号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第16号	平成26年度日南市健全化判断比率の報告について	—	終 了
報告第17号	平成26年度日南市公営企業資金不足比率の報告について	—	終 了
認定第 1 号	平成26年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 2 号	平成26年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 3 号	平成26年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 4 号	平成26年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 5 号	平成26年度日南市病院事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 6 号	平成26年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 7 号	平成26年度日南市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 8 号	平成26年度日南市魚業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第 9 号	平成26年度日南市公設合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第10号	平成26年度日南市公共下水道事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第11号	平成26年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第12号	平成26年度日南市水道事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
議案第74号	平成26年度日南市公共下水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決	原案可決
議案第75号	平成26年度日南市特定環境保全公共下水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決	原案可決
議案第76号	平成26年度日南市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決	原案可決
議案第77号	平成27年度日南市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第78号	平成27年度日南市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第79号	平成27年度日南市簡易水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第80号	平成27年度日南市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第81号	日南市個人情報保護条例及び日南市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第82号	財産の減額譲渡について	原案可決	原案可決
議案第83号	日南市立学校条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第84号	日南市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第85号	日南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第86号	日南市副市長の選任について	—	原案同意



番号	議案名	審議結果	
		委員会	本会議
議案第87号	平成26年(ワ)第83号国家賠償請求事件の和解について	—	原案可決
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
請願第1号	「集団的自衛権」に関わる法整備に反対する意見書の提出を求める請願書	不採択	不採択
陳情第2号	川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情書	不採択	不採択

## 採決結果一覧

賛否の別れた議案等における、議員ごとの賛否結果は以下のとおりです。  
 なお、表中の記号は次のとおりです。(○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長 監=議会選出監査委員)

議案番号	議案名	審査員結果	杉尾麻起子	北川浩一郎	都司誠秀	谷口慎二	小玉弘明	川越昇	黒部俊泰	林一彦	山田一	山本定則	川口和也	前田幸雄	岩永憲明	濱中武紀	福岡浩一	倉岡郁夫	和足恭輔	安竹貞博	中尾秀美	井福重子	田中重信	井戸川格	採決結果	
認定第1号	平成26年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
認定第2号	平成26年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
認定第10号	平成26年度日南市公共下水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
認定第11号	平成26年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第77号	平成27年度日南市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第81号	日南市個人情報保護条例及び日南市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第84号	日南市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第86号	日南市副市長の選任について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第1号	「集団的自衛権」に関わる法整備に反対する意見書の提出を求める請願書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第2号	川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

注1) 議長は採決には加わりません。  
 注2) 議案選出監査委員は、決算認定議案の採決には加わりません。  
 注3) 議案の賛否は原案についての表決です。

# 議会日誌

(7月中旬から10月上旬・抜粋)

## 【7月】

- 17日 鹿児島県南九州市議会が行政視察のため来訪
- 21日 新人議員研修会(24日まで)
- 23日 東九州自動車道整備要望(24日まで 福岡市、東京都)
- 24日 高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会(宮崎市)
- 27日 宮崎県市議会議長会臨時議長会(宮崎市)、  
宮崎県市議会議員研修会(宮崎市)
- 29日 宮崎県議会が行政調査のため来訪
- 30日 宮城県名取市議会が行政視察のため来訪

## 【8月】

- 3日 東京都大田区議会が行政視察のため来訪
- 4日 香川県多度津町議会が行政視察のため来訪
- 7日 福島県喜多方市議会が行政視察のため来訪
- 11日 山口県周南市議会が行政視察のため来訪
- 18日 課題調査研究議員研修、  
県知事要望・意見交換会(宮崎市)
- 19日 自由民主党日南市議団会派視察研修  
(21日まで 伊勢原市、板橋区)
- 20日 愛媛県今治市議会が行政視察のため来訪
- 24日 日本共産党日南市議団会派研修  
(25日まで 横浜市 自治体問題研究所)
- 25日 社民クラブ会派視察研修(27日まで 唐津市、天草市)
- 26日 改政クラブ会派視察研修(28日まで 新発田市、小千谷市)
- 28日 京都府議会が行政視察のため来訪
- 30日 宮崎県防災訓練、日南市総合防災訓練

## 【9月】

- 2日 ポーツマス市表敬訪問(8日まで)
- 7日 議会改革推進特別委員会、議会運営委員会
- 14日 全員協議会、第4回定例会 開会、
- 15日 本会議(質疑)、  
予算審査特別委員会全体会議、  
決算審査特別委員会全体会議・分科会、  
議会だより編集委員会
- 25日 本会議(一般質問)
- 26日 在京日南の会総会(27日まで 東京都)
- 28日 本会議(一般質問)、  
総合交通・産業活性化対策特別委員会
- 29日 本会議(一般質問)、全員協議会
- 30日 議会改革推進特別委員会

## 【10月】

- 1日 常任委員会審査(2日まで)
- 5日 議会視察調査(市内)
- 6日 予算審査特別委員会全体会議、  
全員協議会、本会議(採決)、  
決算審査特別委員会全体会議、  
議会だより編集委員会
- 7日 決算審査特別委員会審査(9日まで)
- 14日 決算審査特別委員会全体会議  
全員協議会、本会議(決算採決)、  
第4回定例会 閉会、  
議会だより編集委員会、  
議会改革推進特別委員会、  
総合交通・産業活性化推進対策特別委員会

## ■平成27年第5回(12月)定例会 開催予定■

- 12月1日 開会、本会議
- 2日 本会議
- 10日 本会議(一般質問 15日まで)
- 16日 委員会審査(18日まで)
- 21日 本会議(採決、閉会)

※ 日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更となる場合があります。

### ★インターネットでも議会が視聴できます!★

下記のURLからご覧ください。

<http://www.nichinan-city.stream.jfit.co.jp/>

## ■ご意見をお待ちしております■

議会だよりに関するご意見・ご要望等がありましたら、下記までご連絡ください。

【日南市議会事務局】

TEL : 0987-31-1142 FAX : 0987-31-1778

E-mail : gikai@city-nichinan.jp



## 編集後記

人口減少克服と地方創生を確実に実現するために、「日南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」最終案の報告が、当局よりされました。

日南市の人口は、現状のままでは平成52年には3万7800人、45年先の平成72年には2万6400人まで減少すると見込まれます。

この歯止めのために、目標人口を設定しました。平成72年に3万人超を確保し、人口減少と地域経済縮小の克服をしていくというものです。

その達成に向け、

- ①「働く場の創出で、人の流れを変え」
- ②「若者層の結婚、出産、子育ての希望をかなえ」
- ③「健康で長生き、充実した人生を送る人を増やす」

を基本に様々な戦略を「選択と集中」を行いながら、取り組む覚悟が必要です。

今年もまた、11月に各地区におきまして議会報告会を開催致します。多くの市民の皆様に参加いただき、遠慮のない意見をいただければ幸いです。

私たち議員も、市民の代表として何をなすべきかを、原点を振り返りながら活動していきたいと思えます。

今後も市民と行政の架け橋となり、自立した日南市づくりを目指します。

(記) 郡司 誠秀